



Hewlett Packard
Enterprise

HPE フレームリレーレポート

ソフトウェアバージョン:10.30
Windows®およびLinux®オペレーティングシステム

フレームリレーレポートのオンラインヘルプ

ドキュメントリリース日 :2017年6月
ソフトウェアリリース日 :2017年6月

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise製品とサービスに関する単独の保証は、かかる製品とサービスに付属する保証ステートメントに明示的に定められています。ここに記載された情報は追加の保証をなすものではありません。HPEではここに記載されている技術的、または編集上の不正確さや脱漏については責任を負いません。

ここに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

制限付き権利

機密コンピューターソフトウェアこれらを所有、使用、または複製するには、HPEが提供する有効なライセンスが必要です。FAR 12.211および12.212に準拠し、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダーの標準商用ライセンスの下、米国政府にライセンスされています。

著作権

© Copyright 2009-2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標

Adobe®はAdobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®はMicrosoft Corporationの米国内での登録商標です。

UNIX®はThe Open Groupの登録商標です。

マニュアル更新

このドキュメントのタイトルページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日。ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日を示します。

最近の更新を確認するか、ドキュメントの最新版を使用していることを確認するには、次のサイトを参照してください:

<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>

このサイトにはHPパスポートのアカウントが必要です。アカウントを持っていない場合は、HPパスポートサインインページの **[アカウントの作成]** ボタンをクリックします。

サポート

HPソフトウェアサポートWebサイトには、次のアドレスからアクセスしてください。<https://softwaresupport.hpe.com>

このWebサイトでは、製品、サービス、およびHPソフトウェアが提供するサポートに関する詳細と連絡先の情報を提供します。

HPソフトウェアサポートでは、お客様ご自身で情報を検索していただけるセルフソルブ検索を提供しています。すばやく効率的な方法で、お客様のビジネス管理に必要な対話型テクニカルサポートツールにアクセスできます。サポートの大切なお客様として、サポートWebサイトで次の操作が可能です。

- 興味のあるナレッジドキュメントの検索
- サポート事例と改善要求の送信と追跡
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPEサポート契約の検索
- 利用可能なサービスに関する情報のレビュー
- 他のソフトウェアユーザーとの情報交換
- ソフトウェアトレーニングの調査と登録

ほとんどのサポートエリアでは、HPパスポートのユーザーとして登録してサインインする必要があります。また、多くのエリアではサポート契約も必要です。HPパスポートIDを登録するには、<https://softwaresupport.hpe.com> にアクセスして、[登録]をクリックします。

アクセスレベルの詳細については、次のURLにアクセスしてください。<https://softwaresupport.hpe.com/web/softwaresupport/access-levels>

オンラインヘルプのこのPDF版について

このドキュメントは、オンラインヘルプのPDF版です。このPDFファイルの提供によって、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で読むことができます。このコンテンツはWebブラウザで表示されるオンラインヘルプとして作成されているため、一部のトピックが適切な形式になっていない可能性があります。また、一部の対話型トピックはこのPDF版で表示できない可能性があります。それらのトピックはオンラインヘルプから正常に印刷できます。

目次

フレームリレーヘルスレポートについて	9
フレームリレーのカレンダーレポート	9
レポートの実行方法	9
標準設定	10
フレームリレーのチャート詳細レポート	10
レポートの実行方法	11
標準設定	12
フレームリレーのヒートチャートレポート	12
レポートの実行方法	13
標準設定	13
フレームリレーの管理対象インベントリレポート	14
フレームリレーの最も変化したレポート	14
レポートの実行方法	14
標準設定	15
フレームリレーのピーク期間レポート	16
レポートの実行方法	16
標準設定	17
フレームリレーのしきい値スリープレポート	18
フレームリレーの上位Nレポート	18
レポートの実行方法	19
標準設定	21
フレームリレーの上位Nチャートレポート	21
レポートの実行方法	21
標準設定	23
フレームリレーの上位N頻度分布レポート	23
レポートの実行方法	24
標準設定	26
フレームリレーの上位Nテーブルレポート	26
レポートの実行方法	27
標準設定	28
レポートレットについて	29
カレンダー	29
ゲージ	30
ヒートチャート	30
メトリックスナップショット	31
最も変化した	32
マルチメトリックチャート	32
単純な棒グラフ	33
単純な棒グラフと折れ線グラフ	34
単純なグラフ	35

単純なテーブル	35
スパーク線	36
しきい値スリーブチャート	37
上位Nチャート	37
上位N折れ線グラフ	38
上位N積み上げグラフ	39
上位Nテーブル	40
棒グラフ付き上位Nテーブル	41
用語集	42

フレームリレーヘルスレポートについて

フレームリレーヘルスレポートは、環境内のフレームリレー仮想回線のパフォーマンスデータを示します。

このレポートを使用すると、仮想回線が過剰使用される時期またはアップグレードが必要となる時期を確認できます。

レポートはNNMiまたはNPSホームページから開くことができます。

NNMiからワークスペースビューを開いてiSPIに移動し、NPSホームページから調査を開始することもできます。

NNMiコンソールからレポートを開くには、以下の手順を実行します。

1. NNMiコンソールにログインします。
2. ワークスペースを選択します。
3. ビュー(ノード、インタフェースまたはインシデント)を開きます。
4. [アクション] > [HPE NNM iSPI Performance] > [レポート - レポートメニュー] を選択します。

フレームリレーのカレンダーレポート

カレンダーレポートでは、従来のカレンダースタイルのレイアウトを使用して2つのメトリックスの毎時の統計情報を複数の日付にまたがる1つの拡張されたグラフとして表示します。カレンダーレポートは、1日より短い時間範囲で使用することはできません。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[iSPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [カレンダー]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間]をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール]ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセレクターを起動]をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。各軸で選択できるメトリックは1つのみです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数 (合計)
 - Y2:CIR使用率 (平均)

フレームリレーのチャート詳細レポート

任意の2つのメトリックに対するサンプルデータを詳しく調べるには、チャート詳細レポートを使用します。このレポートには、2つのメトリックのデータサンプルを表すグラフが含まれており、履歴データに基づいてフレームリレー仮想回線のヘルスおよびパフォーマンスのトレンド分析を実行できます。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[iSPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [チャート詳細]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間]をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール]ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセクターを起動]をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

メトリクス

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[削除]をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[上に移動]または[下に移動]をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

レポートのレイアウトを変更するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

チャートまたはテーブル

チャートおよびテーブル

このドロップダウンリストで、レポート上にチャートまたはテーブルを表示するか、両方を表示するかを選択できます。必要に応じて、[チャートまたはテーブル]、[チャートおよびテーブル]のいずれかを選択します。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数 (合計)
 - Y2:CIR使用率 (平均)

フレームリレーのヒートチャートレポート

ヒートチャート (または正規化ヒートチャート) レポートには、1時間おきに計算されたメトリックの正規化された値が表形式で示されます。NPSはレポート内でカラーコードを使用してメトリックのパフォーマンスの特徴を表します。これにより、徐々に悪化している状態を突き止めたり、正常なパフォーマンスと異常なパフォーマンスとを区別するのが簡単になります。

レポートの上部にある凡例は、正規化されたパフォーマンス値の範囲と特定の色の対応を示しています。

凡例の下にあるテーブルは、パフォーマンスメトリックの正規化された値を示します (行は時間、列は日を表します)。表の各セルはカラーコードされており、メトリックの特定の値を示しています。セル上でマウスをポイントすることにより、各時間の絶対メトリック値を表示できます。

このレポートを使用して、以下のタスクを実行できます。

- パフォーマンスの任意の範囲から別の範囲への段階的なシフトを識別する。
- 1日の結果に影響を与えた低パフォーマンスの孤立したインスタンスを見分ける。
- 曜日パターンまたは時間パターンを見分ける。
- 問題の修正後に異常な状態が正常に戻ったことを確認する。

このレポートは、24時間より短い時間範囲では起動しません。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[iSPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [ヒートチャート]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間]をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール]ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセクターを起動]をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、このメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。軸において選択できるメトリックは1つのみです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

オプション

- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数 (合計)

フレームリレーの管理対象インベントリレポート

管理対象インベントリレポートを使用すると、選択した時間範囲内で収集されたデータに表示する各トポロジ属性のインスタンス数を確認できます。たとえば、「過去1時間」範囲でこのレポートを実行すると、過去1時間で収集されたデータに表示する各属性の一意な値の数を確認できます。このレポートは、指定された時間範囲内でポーリングされたノードの数をチェックするときに便利です。

属性を使用してデータを絞り込んで、関心のある要素を対象としてレポートを作成できます。このレポートには、属性のリストが表形式で表示されます。カウント列は、各属性のエントリー数を示します。たとえば、トポロジ項目ノード場所の数が5であれば、ネットワークのすべてのノードを、それらのノードがホストされている場所に基づいて、5つのグループに分割できます。

時間範囲として1日より長い時間を指定すると、管理対象インベントリレポートの作成にかなり時間がかかることがあります。

フレームリレーの最も変化したレポート

このレポートでは、2つの異なる(連続する)期間についてコンポーネントのパフォーマンスを比較し、変化した量でコンポーネントをランク付けします。ソート順序は「最も変化した」から「最も変化しなかった」です。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[**ISPIメトリック**] > [**FrameRelayPvcヘルス**] > [**FrameRelayPvcメトリック**] > [**最も変化した**]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間] をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール] ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ] をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター] をクリックして[トポロジセレクターを起動] をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

上位N

[上位N] リストでは、レポート上で確認するデータ点の数を指定できます。

レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。

上位N

上位10

[上位N] リストで、任意の値を選択します。

グループ化

[グループ化] オプションを変更するには、以下の手順を実行します。

グループ化:

ノード名

[グループ化] のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加] をクリックします。新しい [グループ化] ボックスに属性のリストが表示されません。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除] をクリックします。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、このメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。軸において選択できるメトリックは1つのみです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- グループ化:修飾Frame Relay Pvc名
- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数(合計)

フレームリレーのピーク期間レポート

ピーク期間レポートは、選択した時間範囲で最も負荷の高い時間におけるフレームリレー仮想回線の使用率とパフォーマンスをランク付けします。このレポートを使用して、次のことができます。

- 選択したメトリックのピーク期間中のパフォーマンスと使用率を識別する。
- ピーク期間中にパフォーマンスまたは使用率のレベルが最も高かった、または最も低かったフレームリレー仮想回線を識別します。
- このレポートを使用して、複数のフレームリレー仮想回線のピーク期間中のパフォーマンスを比較します。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[SPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [ピーク期間]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間]をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール]ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセレクターを起動]をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

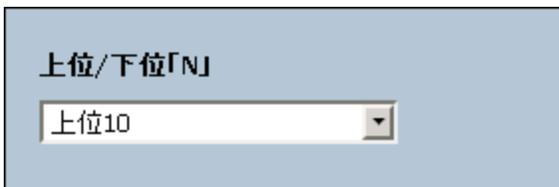
オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

上位/下位N:

[上位/下位N]リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。



The image shows a screenshot of a user interface element. At the top, the text '上位/下位[N]' is displayed. Below it is a dropdown menu with a white background and a grey border. The text '上位10' is visible inside the dropdown, and a small downward-pointing arrow is on the right side of the box.

[上位/下位N] リストで、任意の値を選択します。

グループ化 (期間別):

グループ化 (期間別):

時間

[グループ化 (期間別)] ボックスで、ピーク値をグループ化する期間を選択します。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

各軸の [開始] と [終了] ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。[開始] と [終了] ボックスに値を入力したら、[Enter] を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[削除] をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[上に移動] または [下に移動] をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

標準設定

時間

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- グループ化 (期間別):時間
- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数 (合計)
 - Y2:CIR使用率 (平均)

フレームリレーのしきい値スリーブレポート

しきい値スリーブレポートは、メトリックのパフォーマンス値がしきい値レベルにどの程度近いかを分析します。このレポートを使用して、メトリックがいつしきい値に達するかを分析できます。

次を実行できます。

- 選択したフレームリレー仮想回線の過剰使用または過小使用を予測します。
- メトリックのパフォーマンスがしきい値の上限または下限を超えそうな場合に検出します。
たとえば、可用性 (平均) のしきい値スリーブチャートレポートを生成する場合、チャートには、仮想回線の平均可用性が上限および下限しきい値にどの程度近いかが表示されます。
- 特定のメトリックのさまざまな時間範囲の複数のしきい値スリーブレポートを保存し、メトリックのパフォーマンストレンドを分析します。
このレポートは1つのメトリックのみをサポートします。

フレームリレーの上位Nレポート

上位Nレポートでは、選択したメトリックによってフレームリレー仮想回線をランク付けします。このレポートを使用して、極端な状態で実行されたフレームリレー仮想回線を見分け、使用率のレベルが異常なフレームリレー仮想回線の履歴データを分析します。

このレポートを使用して、次のことができます。

- ヘルスまたはパフォーマンスに問題が発生しているフレームリレー仮想回線を検出する。
- ネットワークで過剰使用または過小使用されているフレームリレー仮想回線を検出する。
- 複数のフレームリレー仮想回線のパフォーマンスを比較する。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[ISPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [上位N]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間]をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール]ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセクターを起動]をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

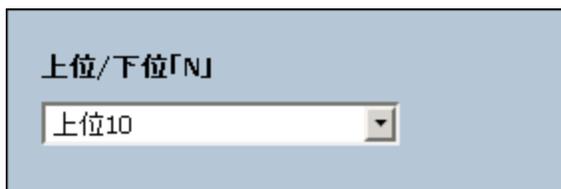
オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

上位/下位N:

[上位/下位N]リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

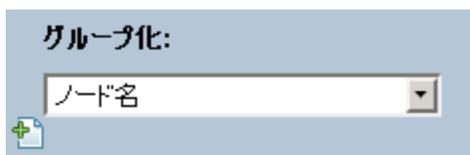
レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title "上位/下位「N」" in bold black text. Below the title is a white dropdown menu with a downward-pointing arrow on the right. The text "上位10" is visible inside the dropdown menu.

[上位/下位N]リストで、任意の値を選択します。

[グループ化]オプションを変更するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title "グループ化:" in bold black text. Below the title is a white dropdown menu with a downward-pointing arrow on the right. The text "ノード名" is visible inside the dropdown menu. A small green plus icon is located to the left of the dropdown menu.

[グループ化]のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加]をクリックします。新しい[グループ化]ボックスに属性のリストが表示されません。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除]をクリックします。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

各軸の [開始] と [終了] ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。[開始] と [終了] ボックスに値を入力したら、[Enter] を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

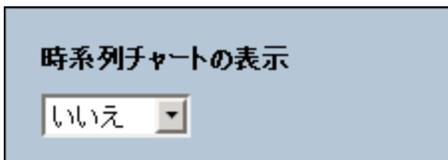
軸上のメトリックを右クリックして、[削除] をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[上に移動] または [下に移動] をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

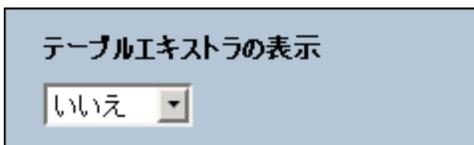
注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

時系列チャートの表示:



このドロップダウンリストで、上位または下位のN要素についてY1メトリック (Y1軸上の最初のメトリックのみ) の時系列の折れ線グラフを表示する選択が可能です。

テーブルエクストラの表示:



このドロップダウンリストでは、上位または下位のN要素についてY1メトリックの追加の棒グラフを表示することを選択できます。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- グループ化:修飾FrameRelayPvc名
- メトリック:
 - Y1:ボリューム - バイト数 (合計)
 - Y2:CIR使用率 (平均)

フレームリレーの上位Nチャートレポート

このレポートでは、選択したメトリックによってフレームリレー仮想回線をランク付けします。このレポートでは、折れ線グラフを活用して各ランクのメトリック値を表示します。

このレポートを使用して、極端な状態で実行されたフレームリレー仮想回線を見分け、使用率のレベルが異常なフレームリレー仮想回線の履歴データを分析します。次を実行できます。

- ヘルスまたはパフォーマンスに問題があるフレームリレー仮想回線を検出する。
- 特定の時間範囲におけるNNMiの管理対象ネットワークフレームリレー仮想回線の使用率を分析する。
- ネットワークで過剰使用または過小使用されているフレームリレー仮想回線を検出する。
- 複数のネットワークフレームリレー仮想回線のパフォーマンスを比較する。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[iSPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [上位Nチャート]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間] をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール] ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセレクターを起動]をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

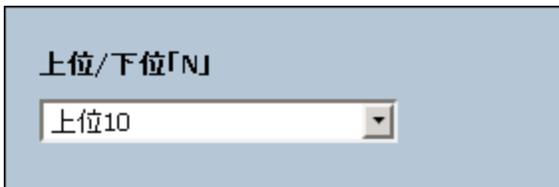
オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

上位/下位N:

[上位/下位N]リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

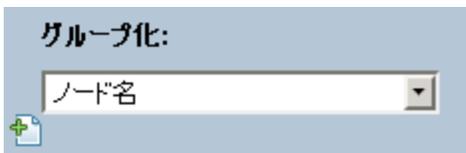
レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title '上位/下位[N]' in bold black text. Below the title is a white dropdown menu with a downward-pointing arrow on the right. The text '上位10' is visible inside the dropdown menu.

[上位/下位N]リストで、任意の値を選択します。

[グループ化]オプションを変更するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title 'グループ化:' in bold black text. Below the title is a white dropdown menu with a downward-pointing arrow on the right. The text 'ノード名' is visible inside the dropdown menu. To the left of the dropdown menu is a small green plus sign icon.

[グループ化]のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加]をクリックします。新しい[グループ化]ボックスに属性のリストが表示されません。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除]をクリックします。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

に送信]をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには **[説明の表示]** をクリックします。

各軸の**[開始]**と**[終了]**ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。**[開始]**と**[終了]**ボックスに値を入力したら、**[Enter]**を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、**[削除]**をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、**[上に移動]**または**[下に移動]**をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- グループ化:修飾FrameRelayPvc名
- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数(合計)
 - Y2:CIR使用率(平均)

フレームリレーの上位N頻度分布レポート

上位N頻度分布レポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素がランク付けされ、選択した時間範囲における各収集サンプルのメトリック値の分布が示されます。

このレポートは、上位Nレポートの代わりに使用することができます。上位Nレポートで利用可能なすべての詳細を提供することに加えて、このレポートでは各 **バケット**¹ でメトリック値が費やした時間量を確認できます。

上位N頻度分布レポートでは、メトリック値の異なる範囲を示すのに **バケット** を使用します。

バケットについて

バケットは値の範囲を表します。上位N頻度分布レポートでは、1つのメトリックシリーズに対して、バケット0 (**Bkt 0**) からバケット11 (**Bkt 11**) まで12の異なるバケット (または値の範囲) を定義することができます。各バケットは、(設定済みで変更不能の) カラーコードと関連付けられています。生成されたレポートは異なる値の範囲の分布を、バケットに関連付けられているカラーコードで表します。

レポートを起動する前に、各バケットに提供されたテキストボックスに上限を入力して範囲を定義する必要があります。最初のバケット (Bkt 1) は、指定した上限未満のすべての値を表します。

均一に分布されたバケットを作成する場合は、Bkt 11の上限とBkt 0の上限を指定して、**[値を展開]** をクリックします。

ヒント: 値の範囲は、個別のメトリックに対してではなく、メトリックシリーズに対して定義可能であるため、メトリックシリーズ内の関連するメトリックのみを選択する必要があります。パーセントメトリックに対して同じシリーズとバケットの範囲を使用することは可能ですが、カウンターメトリック (ボリュームなど) とパーセントメトリックをともに同じシリーズ上に置くことはできません。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、**[iSPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [上位N頻度分布]** をクリックします。**[時間]**、**[トポロジ]**、および**[オプション]** メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、**[時間]** をクリックします。ナビゲーションパネルの**[時間コントロール]** ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の**[トポロジ]** をクリックします。または、ナビゲーションパネルの**[トポロジフィルター]** をクリックして**[トポロジセレクターを起動]** をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、**ここをクリック** してください。

オプション

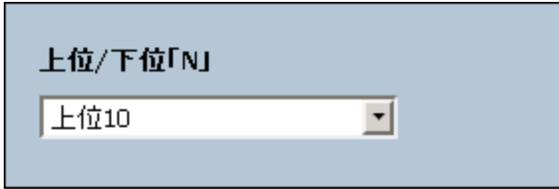
レポートのオプションを変更するには、まずレポートで**[オプション]** メニューをクリックして**[レポートオプション]** ペインを開きます。

上位/下位N:

[上位/下位N] リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。

¹バケットは値の範囲を表します。上位N頻度分布レポートでは、1つのメトリックシリーズに対して、バケット0 (Bkt 0) からバケット11 (Bkt 11) まで12の異なるバケット (または値の範囲) を定義することができます。各バケットは、(設定済みで変更不能の) カラーコードと関連付けられています。生成されたレポートは異なる値の範囲の分布を、バケットに関連付けられているカラーコードで表します。

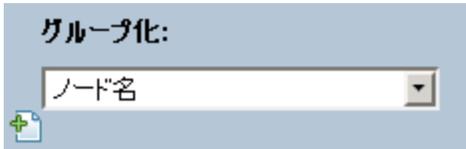


上位/下位「N」

上位10

[上位/下位 N] リストで、任意の値を選択します。

[グループ化] オプションを変更するには、以下の手順を実行します。



グループ化:

ノード名

[グループ化] のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加] をクリックします。新しい [グループ化] ボックスに属性のリストが表示されます。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除] をクリックします。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

各軸の [開始] と [終了] ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。[開始] と [終了] ボックスに値を入力したら、[Enter] を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[削除] をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

軸上のメトリックを右クリックして、[上に移動]または[下に移動]をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- グループ化:修飾FrameRelayPvc名
- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数(合計)
 - Y2:CIR使用率(平均)

フレームリレーの上位Nテーブルレポート

このレポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素をランク付けします。上位Nレポートと異なり、このレポートは棒グラフや時系列グラフをまったく表示せず、「[その他](#)¹」グループも表示しません。大規模な環境においては、NPSは上位Nレポートよりも速く上位Nテーブルレポートを生成できます。上位N要素をできるだけ早く確認するには、上位Nレポートではなく上位Nテーブルレポートを使用してください。

このレポートを使用して、極端な状態で実行された要素を見分け、使用率のレベルが異常な要素の履歴データを分析します。次を実行できます。

- ヘルスまたはパフォーマンスに問題があるフレームリレー仮想回線を検出する。
- 特定の時間範囲におけるNNMiの管理対象ネットワークフレームリレー仮想回線の使用率を分析する。
- ネットワークで過剰使用または過小使用されているフレームリレー仮想回線を検出する。
- 複数のネットワークフレームリレー仮想回線のパフォーマンスを比較する。

¹上位Nレポートで、レポートによってランク付けされていない要素はまとめてグループ化され、「その他」行で表示されます。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[iSPIメトリック] > [FrameRelayPvcヘルス] > [FrameRelayPvcメトリック] > [上位Nテーブル] をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション] メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間] をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール] ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ] をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター] をクリックして[トポロジセクターを起動] をクリックします。

トポロジ属性の定義を確認するには、[ここをクリック](#)してください。

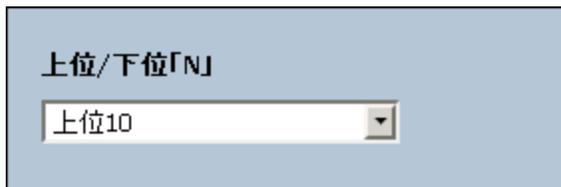
オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション] メニューをクリックして[レポートオプション] ペインを開きます。

上位/下位N:

[上位/下位N] リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

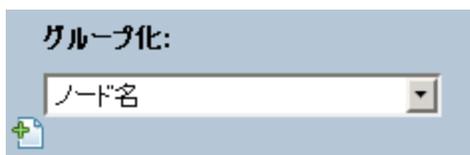
レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title "上位/下位「N」" (Top/Bottom "N"). Below the title is a dropdown menu with "上位10" (Top 10) selected and a small downward arrow on the right side.

[上位/下位N] リストで、任意の値を選択します。

[グループ化] オプションを変更するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title "グループ化:" (Grouping:). Below the title is a dropdown menu with "ノード名" (Node Name) selected and a small downward arrow on the right side. There is also a small green plus icon in the bottom left corner of the box.

[グループ化] のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加] をクリックします。新しい[グループ化] ボックスに属性のリストが表示されません。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除] をクリックします。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は **[Y1 に送信]** をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は **[Y2 に送信]** をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには **[説明の表示]** をクリックします。

各軸の [開始] と [終了] ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。[開始] と [終了] ボックスに値を入力したら、[Enter] を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、**[削除]** をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、**[上に移動]** または **[下に移動]** をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング) 1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- グループ化:修飾 FrameRelayPvc名
- メトリック:

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

- Y1:ボリューム-バイト数 (合計)
- Y2:CIR使用率 (平均)

レポートレットについて

大規模な企業ネットワークでは、NNM iSPI Performance製品 (NNM iSPI Performance for Metrics、NNM iSPI Performance for Quality Assurance、およびNNM iSPI Performance for Traffic) によって大量のデータが作成され、カーディナリティが大きくなる場合があります。企業ネットワークの多くに、大量の一意のIPアドレス、送信元ノードと送信先ノード、仮想回線、インタフェース、およびコンポーネントがあり、それぞれが大量のデータを生成します。そのため、レポートの生成には時間がかかる場合があります。

レポートレットを使用すると、NNM iSPI Performanceダッシュボードを使用して大規模なレポートの簡易版を生成できます。

レポートレットを表示するには、以下の手順を実行します。

1. NPSホームページにログインします。
2. 左側のナビゲーションパネルで、**[iSPIメトリック]** > **[FrameRelayPvcヘルス]** > **[FrameRelayPvcメトリック]** > **[レポートレット]** を選択します。
3. レポートレットを選択します。

レポートレットを使用してカスタムダッシュボードを作成することもできます。

カレンダー

選択したプライマリメトリックとセカンダリメトリックの比較調査が表示されます。

デフォルトの表示粒度は1時間に設定されています。このレポートレットの表示粒度は変更できません。

次の項目を監視できます。

- 選択したフレームリレー仮想回線のCIRまたはEIR使用率 (日次)
- 過去24時間に仮想回線経由で渡されたデータ量
- 過去24時間の仮想回線のパフォーマンス

このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると**[レポートオプション]** ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を**[検索]** ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

ゲージ

このレポートレットは、選択した時点のメトリックを評価します。

パーセント値を表示するメトリックのみを選択してください。

次の作業を実行できます。

- 選択したメトリックの毎日のパフォーマンスを測定する。
- 異常または予期しないパフォーマンスレベルが発生した場合に検出する。

レポートレットは1つのメトリックをサポートします。

NPSデータベースにデータが格納されていない場合は、ゲージに針アイコンが表示されません。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

ヒートチャート

このレポートレットは、選択したメトリックの選択時間範囲におけるパフォーマンスを等級付けします。

メトリックのパフォーマンスは、毎時の表示粒度に基づいて集約されます。

次の作業を実行できます。

- メトリックの変動によって選択したフレームリレー仮想回線のパフォーマンスがどのように影響を受けるかを表示する。
- 選択したメトリックの毎時のパフォーマンスを比較する。
- メトリック値の変動によって選択したフレームリレー仮想回線のパフォーマンスが悪影響を受けた時間範囲を検出する。

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

メトリックスナップショット

このレポートレットは、選択した時間範囲のメトリックパフォーマンスを表示します。

次の作業を実行できます。

- 選択したメトリックのパフォーマンス履歴を作成し、メトリックのパフォーマンスが時間の経過とともにどのように変化したかを分析する。この履歴は、メトリックのベースライン値を決定するときに役立ちます。
- 指定した時間範囲にわたる複数のメトリックのパフォーマンスを比較する。スナップショットレポートは1つのメトリックに対して生成できますが、さまざまなメトリックのスナップショットレポートを保存し、時間範囲にわたる各メトリックのパフォーマンスを比較できます。

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ²を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

最も変化した

このレポートレットは、選択した時間範囲のメトリックパフォーマンスとその時間範囲に先行する期間のメトリックパフォーマンスを比較します。

レポートレットは、メトリックの使用率を集計し、パフォーマンスを降順でランク付けします。

次の作業を実行できます。

- フレームリレー仮想回線のパフォーマンスの変動を測定する。
- 共通のパフォーマンスまたは使用率の問題が発生している上位Nのフレームリレー仮想回線を検出する。

次の機能を使用して、レポートレットのユーザビリティを拡張できます。

- 上位/下位N
- グループ化

レポートレットは1つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除]をクリックすると[レポートオプション]ペインが表示されます。

[レポートオプション]ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

マルチメトリックチャート

このレポートレットは、選択したメトリックの選択時間範囲におけるパフォーマンストレンドを分析します。

次の作業を実行できます。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

- 表示粒度ごとに選択したメトリックの比較分析を実行する。デフォルトの表示粒度は1時間です。
- 選択したフレームリレー仮想回線のパフォーマンスの向上および悪化の理由を分析する。
- フレームリレー仮想回線のパフォーマンスに影響を与える継続的な問題を検出する。

レポートレットは最大6つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

単純な棒グラフ

このレポートレットは、2つのメトリックの選択時間範囲におけるパフォーマンスを比較します。

次の作業を実行できます。

- 複数のメトリックのパフォーマンストレンドを比較する。
- プライマリメトリックの値の増減に応じてセカンダリメトリックの値がどのように増減するかを分析する。

このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は **[Y1 に送信]** をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は **[Y2 に送信]** をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには **[説明の表示]** をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

単純な棒グラフと折れ線グラフ

次の値を使用して、過去24時間のフレームリレー仮想回線のパフォーマンストレンドを表示します。

- 棒グラフ上のプライマリメトリック
- 線グラフ上のセカンダリメトリック

次の作業を実行できます。

- 複数のメトリックのパフォーマンストレンドを比較する。
- プライマリメトリックの値の増減に応じてセカンダリメトリックの値がどのように増減するかを分析する。

このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると [レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ²を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は **[Y1 に送信]** をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は **[Y2**

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

単純なグラフ

このレポートレットは、選択したメトリックの選択時間範囲における使用率トレンドを分析します。

次の作業を実行できます。

- 表示粒度ごとに選択したメトリックの比較分析を実行する。デフォルトの表示粒度は1時間です。
- 選択したフレームリレー仮想回線のパフォーマンスの向上および悪化の理由を分析する。
- 選択したフレームリレー仮想回線のパフォーマンスに影響を与える継続的な問題を検出する。

レポートレットは2つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると [レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

単純なテーブル

このレポートレットは、選択したメトリックの選択時間範囲における使用率トレンドを分析します。デフォルトの表示粒度は1時間です。

次の作業を実行できます。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

- メトリックの毎時のパフォーマンスを分析する。
- 選択したフレームリレー仮想回線の異常または予期しないパフォーマンスを検出する。
- プライマリメトリックの値の増減に応じてセカンダリメトリックの値がどのように増減するかを分析する。

レポートレットは最大6つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

スパーク線

このレポートレットは、選択したメトリック値の選択時間範囲における変化のトレンドを評価します。

次の作業を実行できます。

- 選択したメトリックのパフォーマンスの変動を分析する。
- 選択したメトリックの期待される動作を再評価するかどうかを決定します。

レポートレットは1つのメトリックをサポートします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

しきい値スリープチャート

このレポートレットは、メトリックのパフォーマンス値がしきい値レベルにどの程度近いかを分析します。

次の作業を実行できます。

- メトリックのパフォーマンスがしきい値の上限または下限を超えそうな場合に検出します。
たとえば、CIR使用率(平均)の例外スリープチャートレポートレットを生成する場合、チャートには、過去24時間に平均CIR使用率で発生した例外の数が表示されます。
- ある時間範囲の複数のスリープレポートを保存し、メトリックのパフォーマンストレンドを分析します。

レポートレットは1つのメトリックをサポートします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

上位Nチャート

このレポートレットは、指定の時間範囲における選択したフレームリレー仮想回線のパフォーマンスに対する、各メトリックの個々の貢献度をランク付けします。

インターフェースのパフォーマンスは1時間ごとに集約されます。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [新しいグループ化を追加] ボタンをクリックします。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートの使用」>「レポートオプションの変更」セクションの「レポートレットオプションの変更」を参照してください。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

上位N折れ線グラフ

このレポートレットは、選択したメトリックの選択時間範囲における使用率トレンドをランク付けします。

仮想回線のパフォーマンスは1時間ごとに集約されます。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [新しいグループ化を追加] ボタンをクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートレット設定の変更」セクションを参照してください。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

上位N積み上げグラフ

このレポートレットは、選択したメトリックに基づいて、各仮想回線の個々の貢献度をランク付けします。

各インターフェースのパフォーマンスは、デフォルトの表示粒度である1時間で集約されます。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリクスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- 共通のネットワークパフォーマンス問題を持つネットワークパスを検出する。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートの使用」>「レポートオプションの変更」セクションの「レポートレットオプションの変更」を参照してください。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ²を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

上位Nテーブル

このレポートレットは、選択したメトリックに基づいてインタフェースをランク付けします。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [新しいグループ化を追加] ボタンをクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートの使用」>「レポートオプションの変更」セクションの「レポートレットオプションの変更」を参照してください。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

- メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

- コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

棒グラフ付き上位Nテーブル

このレポートレットは、選択したメトリックに基づいてフレームリレー仮想回線をランク付けし、集約されたメトリック値を表す水平バーを表示します。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [新しいグループ化を追加] ボタンをクリックします。

レポートレットで新しいメトリックを選択する方法については、「レポートの使用」>「レポートオプションの変更」セクションの「レポートレットオプションの変更」を参照してください。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

用語集

A

ACK

肯定応答:送信されたメッセージが破損することなく、エラーも発生せずに受信されたこと、および受信ステーションが転送内容を受け入れられる状態になっていることを示すために使用される転送制御文字です。受信ステーションはこのコードを送り主に送信して、転送内容を受け入れたことを示します。

B

BECN

逆方向明示的輻輳通知 (BECN):BECN ビットは、フレームリレーのフレームヘッダーのアドレスフィールドの一部です。DCEデバイス は、FECNビットセットでフレームの反対方向に送られるフレームについて、BECNビットの値を1に設定します。これにより、受信DTEデバイスに、ネットワークを通る特定のパスが輻輳状態であるという通知が行われます。DTEデバイスはこの情報をより高い層の処理を行うためのプロトコルにリレーします。実装によって、より高い層のプロトコルはフロー制御を開始したり表示を無視することが可能です。

F

FCS

フレームチェックシーケンス:各PPPパケットには、チェックサムが添付していて、受信しているデータが送信されているデータであることを確認します。着信パケットのFCSが正しくない場合、そのパケットはドロップされ、FCSエラー数が加算されます。

FECN

順方向明示的輻輳通知 (FECN):FECNビットは、フレームリレーのフレームヘッダーのアドレ

スフィールドの一部です。FECNのメカニズムは、DTEデバイスがフレームリレーのフレームをネットワークに送信するときに起動します。ネットワークが輻輳状態の場合、DCEデバイス (スイッチ) はフレームの FECNビットの値を1に設定します。フレームが送信先DTEデバイスに到達すると、(FECNビットが設定された) アドレスフィールドで、送信元から送信先にいたるパス内でフレームが輻輳状態にあることを示します。DTEデバイスはこの情報をより高い層の処理を行うためのプロトコルにリレーします。実装によって、より高い層のプロトコルはフロー制御を起動または表示を無視することが可能になります。

I

ifAdminStatus

NNMiでの管理状態:現在のMIB II ifAdminStatusの値 (デバイスの管理者によって設定された値) または State Pollerサービスによって計算された値を表します。現在の管理状態は、このインタフェースでのステータス計算に影響を与えます。

ifOperStatus

NNMiでの運用状態:現在のMIB II ifOperStatusの値またはState Pollerサービスによって計算された値を表します。現在の運用状態は、このインタフェースでのステータス計算に影響を与えます。

R

RTS

送信要求:ワイヤレスネットワークへのアクセスを求めているデバイスから送信されたメッセージです。

S

sysUpTime

NNMiはシステムの再起動を検出するのに sysUptimeを使用します。システムの再起動

が検出されると、NNMiはsysUpTimeの値を常にゼロにリセットします。

グ

グループ化

特定のパラメーターに基づいてレポートデータを整理します。新規グループを追加するには [新しいグループ化を追加] アイコンをクリックします。

グループ化 (期間別)

特定の時間粒度に基づいてレポートデータをグループ化できます。新規グループを追加するには [新しいグループ化を追加] アイコンをクリックします。

し

しきい値の例外

しきい値の例外率メトリックは、オブジェクトにしきい値例外が発生した時間のパーセンテージを示します。

セ

セカンダリメトリック

プライマリメトリックに重ね合わせるメトリックを選択できます。選択したセカンダリメトリックは、レポートの右側のY軸上に表示されます。

そ

その他

上位Nレポートで、レポートによってランク付けされていない要素はまとめてグループ化され、「その他」行で表示されます。

タ

タグ

タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

ト

トポロジ属性

トポロジ属性は、ネットワーク要素の属性で、要素のタイプ、場所、またはその他の識別のための特徴に関する情報を提供するものです。特定のトポロジ属性 (デバイスの場所、サイト、デバイスのUUIDなど) でNPSレポートをフィルタリングして、関心のある要素に絞り込んで分析を行うことができます。

バ

バケット

バケットは値の範囲を表します。上位N頻度分布レポートでは、1つのメトリックシリーズに対して、バケット0 (Bkt 0) からバケット11 (Bkt 11) まで12の異なるバケット (または値の範囲) を定義することができます。各バケットは、(設定済みで変更不能の) カラーコードと関連付けられています。生成されたレポートは異なる値の範囲の分布を、バケットに関連付けられているカラーコードで表します。

バックプレーン使用率

バックプレーンは、情報をポートに渡すスイッチの内部通信チャンネルです。バックプレーン使用率は、スイッチポート間を移動するトラフィックによって使用されている、チャンネルの利用可能な帯域幅の量です。バックプレーン使用率によって、ポートセグメントのトラフィック量がどの点に達するとパフォーマンスの低下を生じるのかを判別しやすくなります。

プ

プライマリメトリック

レポートを生成する対象の主要メトリックを選択できます。選択したプライマリメトリックは、レポートの左側のY軸上に表示されます。

ベ

ベースラインの例外

ベースラインの例外率メトリックは、オブジェクトにベースライン例外が発生した時間のパーセンテージを示します。

メ

メトリックの選択

レポート生成の対象とするメトリックを選択します。

時

時系列チャートの表示

表と一緒に詳細チャートを表示するには[はい]を選択します。チャートを非表示にして表のみを表示するには[いいえ]を選択します。作成した上位Nレポートには、選択した時間範囲におけるコンポーネントのメトリック値がグラフ表示されます。

上

上位/下位N

選択したコンポーネントに対して、上位または下位の5件、10件、25件、50件、100件、すべてを降順、すべてを昇順の中から、ランク付けを1つ選択します。

全

全体例外率

全体例外率は、選択した時間範囲内で、オブジェクトにしきい値例外、ベースライン例外、あるいはこれら両方が発生した時間のパーセンテージを示します。

